

なんだ・かんだ

◆ 介護について ◆

日経ビジネスに介護について特集されていました。来年2025年には、1947年から1949年にかけて戦後の第1次ベビーブームに生まれた団塊の世代全員が後期高齢者となり、日本は「大介護時代」に突入すると警鐘を鳴らしていました。現在介護と仕事の両立ができずに、離職をしなければならないというケースが多く見られる様になったといえます。今後は更にこの状況は厳しくなって行く事は必至であり、各企業としては従業員の介護支援を強化することが求められて行く。という趣旨の内容でした。

団塊の世代が75歳以上になり要介護状態に占める割合が増えて行くと、その世代の子供(団塊ジュニア)の多くは、介護が現実のものとなってきます。この世代は現在50代前半で、おそらく多くが企業の中核を担い、管理職や現場のベテランとして活躍している世代に当たるといえます。介護の負担が仕事に影響を与え、離職が進むことで企業へ与える経済的なマイナス影響は増大し、2030年には全体で約9兆円に到達するという試算もあるそうです。

ここ数年、育児介護休業法改正があり、企業には育児や介護の支援制度の整備が義務付けられました。特に育児休暇は今ではかなり市民権を得て、役所や大手企業を中心に男性社員も育児休暇を取得する方が増えているように感じています。当社でも男性はまだいませんが、女性は産休・育休の制度を利用して退社することなく現在も継続して勤務してくれています。

一方、介護休暇を取得している話は私の周りではあまり聞きません。当社でもまだ申請をした者はいない状況です。ただ、介護は急に訪れると言います。実家で独居する高齢者の親が骨折や交通事故をきっかけに要介護となり、急遽介護をしなければならなくなることが良くある様です。そしていったん要介護となると介護度は徐々に悪くなって行きます。最初は何かかこなしていても、その状況が続く慣れない介護に追われ、肉体的にも精神的に追いつめられ、職場では介護を理由に役割から外される不安が重なり、相談できないまま孤立し、介護を理由に離職を考える人が増えているということです。

介護休暇は育児休暇とは違い「休みを与えればよい」という考え方では片手落ちで、制度に付随する支援体制が整っている事が大事だそうです。介護を上手く進めるには、介護保険制度や制度の中で運営されている支援組織を上手く使うことです。介護保険は知っていても、最初は自分がどの様な支援が受けられるのか全く分からないのが普通だと思います。地域には介護支援センターがあり、親の介護度や介護者の状況などを考慮して色々相談に乗ってもらえます。私も随分と親身に相談に乗ってもらって助かりました。

介護に疲れて自滅する前にこの様な制度や施設に相談する事が重要だと思います。又企業は従業員にこの様な支援や施設の情報を提供するなどの体制を作っておくことが必要だと思います。

介護は誰にでもやってきます。個人も会社もその時の備えが必要だと思います。



■ 期限付きパート・アルバイトの募集 ■

当社で現在勤務しているパート社員が12月から産休・育休に入ります。期間は来年の3月半ばまでです。この期間に働いて頂けるパート・アルバイトさんを募集しています。

勤務は月～金で時間は応相談ですが、出来たら6～7時間働いて頂ければと思っています。業務内容は、ネット販売部門で、メールからの注文の受注処理、発送案内、電話応対等です。時給はお問合せ下さい。

1年数カ月と期限付きでなかなか難しいとは思いますが宜しくお願い致します。お問い合わせ先：総務部 加藤まで

忘年

11月半ばの日曜日、沼津でも25℃を越え夏日となった日に、沼津駅に近い公園で、クラフトビールのフェスがあったので家内と二人で行って来ました。県東部以外からも出店があり結構賑わっていました。屋外のフェスでしたが、11月とは思えない暑さで、半袖のTシャツの方もいて、ビールが美味しい天気でした。そしてこれからは忘年会の季節となります。今週から毎週の様に宴会が続きます。当社の忘年会も先日行われました。昨年は忘年会当日に私がコロナに罹患してしまい中止となってしまったのですが、予約をしていたお店は、ありがたいことに急なキャンセルにもかかわらずキャンセル料も取らずに対応してくれました。なので今年と同じお店で忘年会を開催し一年の労をねぎらいました。あと一か月を残し早めの忘年会を終えましたが、本日に一年経つのが早く感じます。歳を取るほど一年が短く、時間が早く過ぎると感じる「ジャンナーの法則」を体感しています。人生一日一日を大切に生きなければと思う今日この頃です。

代表取締役 服部 徹一郎

社員ブログ

● 秋祭り ●

総務部 遠藤都機恵

10月の三連休は、地元の秋祭りでした。今回のお祭りは当番町で、私は初めてお祭りの係でした。

子どもが小学校の頃は、子供会で山車の引き回しを行いましたが、それ以来です。

お祭りの当日、最初は初めてなので、同じ係のメンバーはどんな方なのか、どんな仕事をすればいいのか、わからない事ばかりだったのでとにかく不安でいっぱいでした。

しかし始まってみると、同じ係の方々はほとんどが初対面でしたがみなさん気さくな方ばかりでとても話しやすく、また、係の長の方が細かく指示をしてくれたので、協力しながらお手伝いをする事ができました。

お祭りの最後には、同じ係の人たちと一体感が生まれたような感じでした。

色々な世代の方と話したり、子どもの進路について情報を聞いたり、とても充実した1日となりました。

地元の小さなお祭りですが、区長さん、区議員さん、子供会、当番町、ボランティア等大勢の方の協力があったお祭りが成り立っているんだと感じました。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思ひます。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/